

古代を科学する!

～ 技術革新が考古学にもたらすもの ～

受講無料

「考古学」って、サイエンス!

木製の柄が完全に残った形で出土した鉄製かんなどとしては国内最古で、今後の調査についても注目されます。「考古学」の研究といえば、このような歴史的出土品や豪華な財宝などの発掘作業をまず思い浮かべる人が多いかもしれません。しかし、考古学研究とは、出土品の観察や分析、地域との関連の推察など、地道な作業が多くを占める学問です。

その考古学研究において、大きな変化が起こっています。近年の、私たちの身の回りにおける技術の革新は、多くの方が実感できるものだと言えるでしょう。様々なツールが生まれ、生活は劇的に変化しています。そしてそれは、考古学の世界も例外ではありません。様々な調査分析が可能になったことで、これまでの技術では分かり得なかった、新たな事実が発見されています。

金沢大学は、1974年に日本海側の国立大学では初めて考古学専攻コースを設置しました。これまでに300余名の卒業生を輩出し、海外での調査研究はもちろん、石川県内での古墳の測量など、地域をフィールドにした研究活動も行っています。この講座では、金沢大学の研究グループによる最先端の考古学研究についてご紹介します。みなさんが持っている「考古学」のイメージにも、革新が起こるかもしれません。

【会場】 **金沢大学サテライト・プラザ**
金沢市西町三番丁16番地 金沢市西町教育研修館内

【受講対象】 一般の方(高校生以上)

【定員】 100名(先着)

【申込方法】 事前申込が必要です。Webサイトから、またはFAX・お電話でお申し込みください。

【申込期限】 10/6(金)

締切日以降はお問い合わせください。

2017年7月、小松市の八日市地方遺跡から約2300年前のものとみられる鉄製やりがんなが出土しました。

第1回

10/ 8(日) 10:30~12:00

中国稲作文明の起源と考古科学

人間社会研究域歴史言語文化学系・教授

中村 慎一

遺跡の中には各種の遺物、遺構以外にも、古代人の生活を知るうえで重要な情報源が大量に眠っています。それを最大限に活用して古代史像を肉づけしていくのが私の研究スタイルです。現在中国で実施している調査研究を例に取りあげ、技術革新が考古学研究にどのようなブレイクスルーをもたらしつつあるのかを紹介します。

第2回

10/15(日) 10:30~12:00

DNAと微量元素で探る古代のヒトと動物

人間社会研究域附属国際文化資源学研究センター・特任助教

覺張 隆史

遺跡から出土するヒトの骨や歯は、過去の人々が「どこで生まれ」「何を食べて」生きてきたかという履歴を生化学情報という形で残っています。近年、骨や歯の化学分析・DNA分析に技術革新が起こり、従来はわからなかったヒトの「生き様」をとらえることが可能となってきました。本講義では、東アジアの研究例を中心に、最新の分析技術を紹介します。

第3回

10/22(日) 10:30~12:00

漆でひも解く2000年のタイムカプセル

人間社会研究域附属国際文化資源学研究センター・助教(今秋着任予定)

神谷 嘉美

考古学、植物学、分析科学、美術史学などが連携する文理融合の漆研究が登場し、福井県鳥浜貝塚からは約12600年前(縄文時代草創期)のウルシの小枝が発見されました。従来考えられていたよりも長く深く、漆は人類と関わりをもっているのです。漆をめぐるナゾを解き明かそうとする近年の自然科学的手法と成果の一端を紹介します。

講座開設にあたっての メッセージ

金沢大学地域連携推進センター長
市原 あかね



金沢大学地域連携推進センターは、大学と地域をつなぎ、大学の社会貢献を推進する機関として大きな役割を担っています。大学と地域の懸け橋として、大学の教育研究の成果を広く地域社会に還元し、様々な形で地域との繋がりを深めていきたいと考えております。

本講座では、読売新聞東京本社北陸支社のご協力を得て、金沢大学の考古学研究について、地域の皆様にお届けします。

県内には、古くは旧石器時代のものから多くの遺跡があり、長きに亘って人々の営みがあったことがわかっています。今の私たちに続くその営みの歴史を紐解く最先端の考古学研究について、一緒に学びましょう。

この講座が、考古学の新たな魅力を発見し、地域で営まれてきた人々の生業(なりわい)に興味を持つきっかけとなれば幸いです。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

読売新聞東京本社執行役員北陸支社長
吉村 秀男



現代のわれわれは、狩猟や初期の農業・牧畜に頼っていた大昔の人たちより「幸せ」になれたのでしょうか？

経済成長や技術革新が人々を幸福にすると信じられていた少し前の時代なら、多くの人が「イエス」と答えたでしょう。しかし、そんな単純な歴史観は今、見直されつつあります。それを先導しているのが、考古学の最新研究です。

過去のことを調べる考古学と最近のニュースを取り上げる新聞とは、縁遠いもののように思われるかもしれませんが、ところが、事実を積み上げて人とは何か、社会とは何かを追究する手法と、人々が幸せになる道を探りたいという究極の目的は、どちらも同じです。

今回の講座は、時空を越えた「人類の旅」に私たちを誘い、未来を考えるヒントを与えてくれるものになるでしょう。

お申込み・お問合せ

金沢大学 地域連携推進センター

〒920-1192 金沢市角間町

Tel : 076-264-5272,5273 E-mail : kaihou@adm.kanazawa-u.ac.jp

受付時間 : 9:00~17:00 (ただし、土日、祝日を除く)

Webでのお申込み

<http://open-learning.crc.kanazawa-u.ac.jp>

または右記のQRコードからアクセスください



FAXでのお申込み

076-234-4045

お電話でのお申込み

076-264-5272

会場マップ



公開市民講座申込用紙

お名前	フリガナ	電話番号	
		FAX番号 (FAXで申込の方のみ)	
お住まい	<input type="checkbox"/> 金沢市内 <input type="checkbox"/> 石川県内 <input type="checkbox"/> 富山県 <input type="checkbox"/> その他()	受講講座	受講を希望される回に○印を付けてください。 <input type="checkbox"/> 第1回 10/ 8(日)
	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30~40代 <input type="checkbox"/> 50~60代 <input type="checkbox"/> 70代~		<input type="checkbox"/> 第2回 10/15(日) <input type="checkbox"/> 第3回 10/22(日)

※ご記入頂いた個人情報については、適切に管理し、本市民講座運営のために使用します。